

## 大学の世界展開力強化事業（平成 29 年度採択） 中間評価結果

大 学 名	東海大学
整理番号	AR06
事 業 名	ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成—主に極東地域の経済発展を目的として—

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span>	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
コメント 本プログラムは、主として極東地域におけるライフケア分野の人材育成を双方向で行うことを目的としている。 極東連邦大学と双方でオフィスを開設し、運営体制の基盤を築いていることに加え、健診人材実務者研修を受入・派遣の両面で行い、グローバル人材の育成に取り組んでいる。また、ワンストップサービス型の総合窓口である国際教育センターにロシア語対応の可能なスタッフを配置することで、修学サポートの強化や参加学生を対象とする危機管理研修を行うとともに、学生の留学中には危機管理を専門とする会社や旅行会社を活用して安全管理に努めるなど、環境整備にも努めている。さらに、海洋調査研修船「望星丸」を活用した短期研修をロシアの大学だけでなく国内の本事業の他の採択大学にも開放することで広く参加者を得ているのは好事例であると言えるほか、多言語で情報発信を数多く行っている点も評価できる。 一方で、グローバル・プログラム群科目のライフケア分野の授業科目が限定的であることから、プログラムの主体がライフケア分野に展開していくような取組や、学生の英語力向上と関連する科目の増加、あるいはロシア語の習得に向けた対応が求められる。受入・派遣学生数は目標を概ね達成しているが、直近の受入学生数は目標を下回っている。計画に基づいて受入数拡充に向けた取組を継続することで、目標を達成することに期待したい。また、単位互換制度や、個別協議が進んでいる高等経済学院との修士課程のダブル・ディグリープログラムの構築については道半ばであり、実現に向けて早急な対応が望まれる。 最後に、今後も補助期間終了後の安定的な財源確保に努めるとともに、学内や関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的にプログラムを展開していくことを期待する。	